

青谷梅林・ 梅まつり鑑賞ウォーク

6班担当



青谷梅林は山城(京都)と大和(奈良)を結ぶ“山城古道”沿いにあり、京都から五里、奈良からも五里の中間にあつて、五里五里の里とも云われ、古くから日本でも有数の梅の名所として親しまれています。梅林は京都府では最大で20ヘクタールの敷地では約1万本の白梅が鑑賞出来、梅の実からつくられる梅酒の産地としても知られています。又、青谷地区には10本の古木、銘木が保存されており出来る限り多く見て回りしたいと思います。



下見(2月6日)の梅の様子

日時：平成30年03月09日(金)
集合：山城青谷駅(改札を出て右側の広場)
時間：10時15分

アクセス1 大阪 8:59—(新快速・長浜行)—高槻 9:15—京都 9:28(奈良線乗り換え)—(みやこ路快速)—9:32—宇治 9:51(乗り換え)9:53—山城青谷 10:07

アクセス2 天王寺 8:52—(快速・奈良行)—奈良 9:29(乗り換え)—9:39—山城青谷 10:06

(大阪～山城青谷 970.- 高槻～京都 390.- 京都～山城青谷 410.- 天王寺～山城青谷 970.-)

行程：

山城青谷駅出発 10:30 — 青谷梅工房 — 中天満神社 — 堂山見晴台—梅まつり会場
11:30～(昼食、班会議)～13:00 — 山の神(三の口) — 中梅林 — 市辺天満神社 —
城陽酒造 — 賀茂神社 — 奈島神社 — 山城青谷駅帰着 15:00 予定

(トイレは行程の途中に数箇所あります)

(帰路時刻表・ 京都方面 14:38、15:08、15:38 天王寺方面 14:37、15:07、15:37)

持ち物： 弁当、飲み物、敷物、雨具、観察用具

*昼食時間をいつもよりゆっくり取りますので、観梅を楽しみましょう。

実施可否： 前日 18:00 の予報で、京都南部の降水確率が 50%以上の場合は中止とし、
全体メールでお知らせします。

参考：

- 中天満神社 — 菅原道真を祭神とする旧中村の産土神、創祭年代、由緒は不明
- 堂山見晴台 — 地区の人たちにより平成23年2月に完成した手作りの見晴台
- 山の神 — 年頭の初寅の日に山の安全と農作物の豊作を祈願する山の神の祭壇
- 青谷梅林 — 20haの敷地に京都特産の約1万本の白梅(城州白)が植えられている
- 市辺天満神社 — 菅原道真を祭神とする産土神、本殿(府登録文化財)は慶長11年(1606年)に建立
- 古木・銘木 — 市辺天満神社(スギ、モチノキ)、 賀茂神社(ムクノキ)、 奈島弁天(ケヤキ)
南京都病院(エドヒガンサクラ)、 市辺南垣内(松井邸)(クロマツ)
青谷小学校(クスノキ)、 市辺松尾(イヌザクラ)
市辺中垣内(富田邸)(ロウバイ)、 市辺中垣内(畑中邸)(ナツメ)